

登録コード	E7215300	開講年度	2026					
授業科目	フィールド調査演習					担当教員	橋本 政晴	
英文授業名	Field Research for Sports Sociology					副担当		
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室	教育M306			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					<海のスポーツ>をめぐる社会問題について理解を深める.		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					<海のスポーツ>のフィールド調査を通じてレポート作成を行い, 当該問題に対する「地域住民の対応の在り方」を理解する.		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	沖縄を事例にして, <海のスポーツ>をめぐる社会問題について文献の読解を通じて理解を深める. 2泊3日(9月中旬)のフィールド調査を通して, 「地域住民による対応の在り方」を理解し, レポートを作成し, 報告会を実施することで理解を深め合う.							
(5)授業計画	05月 第01回: ガイダンス / 沖縄を知る 06月 第02回: 文献読解(1) <海のスポーツ>をめぐる諸問題 07月 第03回: 文献読解(2) 沖縄の海とスポーツをめぐる社会問題 09月 / 中旬 第04回~第06回: フィールド調査(1) 沖縄の海をめぐる諸問題 第07回~第10回: フィールド調査(2) 社会問題としての<海のスポーツ> 第11回~第13回: フィールド調査(3) 海の問題への対応の諸相 第14回: レポート報告会							
(6)成績評価の方法	成績評価は, 次のとおりである. 沖縄の海のスポーツに関わる基礎的知識の理解を測る事前レポート (30%) フィールド調査をもとにした最終レポートの作成 (70%) ・得点率による評価基準は次のとおりとする. 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可.							
(7)成績評価の基準	事前レポートおよび最終レポートの評価基準は次の通りである. 問題の背景を理解し説明ができている. 問題にどのような課題があるのかを指摘できている. 指摘した課題について社会的・学術的な知識を用いて考察できている. 自分の意見を説得的に提示できている. まで達成している場合は「水準にある(可)」 まで達成している場合は「やや上にある(良)」 まで達成している場合は「かなり上にある(優)」 まで達成している場合は「卓越している(秀)」.							
(8)事前事後学習の内容	授業の最後に, 次回授業のテーマに関わる文献・資料等を例示し, 教科書も含めて予習しておくべき個所を指定する. 授業の冒頭で, 前回の授業における優秀レポートを紹介し, 前回のテーマについての理解をより深め, 更なる学習のための文献・資料等を例示する.							
(9)履修上の注意	スキン・ダイビングの道具を準備し, 学部プールで事前にトレーニングを予定している.							
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	授業についての質問は, 授業時間内とその前後に随時受け付ける. 履修や授業内容に関する質問はメールにて相談を受け付ける.							
【教科書】	指定しない. 適宜資料を配布する.							
【参考文献】	圓田浩二『ダイビングのエスノグラフィー: 沖縄の観光開発と自然保護』青弓社 佐竹五六ほか『ローカルルールの研究: ダイビングス波特裁判検証から』まな出版企画 松井健(編)『沖縄列島: シマの自然と伝統のゆくえ』東京大学出版会 松井健(編)『開発と環境の文化学: 沖縄地域社会変動の諸契機』榕樹書林							